

ばれいしょ・てん菜生産基盤強化事業

持続的な畠作営農の確立に向けて、バランスのとれた適切な輪作体系の構築に取り組む産地におけるばれいしょ及びてん菜の生産構造転換を推進するため、省力化やコスト低減等の生産性向上の取組を支援します。

(1) 生産構造転換重点支援

ばれいしょ又はてん菜の生産構造転換の取組に対して、取組面積に応じて支援します。

事業実施主体 市町村、農業協同組合、協議会 等

対象作物 でん粉原料用ばれいしょ（以下の①～③の取組）、てん菜（④、⑤の取組）

① ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種等の導入

ジャガイモシストセンチュウ（Gr）、ジャガイモシロシストセンチュウ（Gp）及びばれいしょの主要病害虫の1つ以上に「中」以上の抵抗性（複合病害抵抗性）を有する品種を新たに導入する取組に支援。

- ・ Gr抵抗性のみ **3,000円/10a**
- ・ Gr抵抗性 + Gp抵抗性 又は 複合病害抵抗性 **5,000円/10a**
※ただし、Gr抵抗性のみから複合病害抵抗性（Gr抵抗性必須。Gp抵抗性を除く）へ転換する面積については、**2,000円/10a**
- ・ Gr抵抗性（複合病害抵抗性を含む。ただし、Gp抵抗性を除く）からGp抵抗性へ転換する面積については、**3,000円/10a**

取組内容・補助率等

② 疎植栽培※の導入 **3,000円/10a**

※ 試験研究機関等によりその有効性が科学的に示されたものであること。

③ ジャガイモシストセンチュウ類対抗植物の導入 **5,000円/10a**

※ 試験研究機関等によりその有効性が科学的に示されたものであること。

※ 対象ほ場は、輪作の中ででん粉原料用ばれいしょの作付けを行う目的のものに限る。

④ 褐斑病抵抗品種の導入

褐斑病に対しより強い抵抗性を有する品種を新たに導入する取組に支援。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| ・ 「中」の品種の場合 | <u>1,000円/10a</u> |
| ・ 「やや強」の品種の場合 | <u>2,000円/10a</u> |
| ・ 「強」の品種の場合 | <u>3,000円/10a</u> |
| ・ 「かなり強」以上の品種の場合 | <u>5,000円/10a</u> |



⑤ 直播栽培の導入 **3,000円/10a**

留意事項

- ・ 輪作計画を作成すること（詳細後述）。
- ・ 補助対象面積は、事業実施年度における事業取組者の取組面積のうち、前年度からの増加分。
- ・ （2）の重点推進支援の取組面積との重複申請は不可。

(2) 生産構造転換重点推進支援

でん粉原料用ばれいしょの生産性向上に向けて、技術講習会や技術指導等の栽培技術の向上に産地で取り組む場合、取組面積に応じて支援します。

事業実施主体 市町村、農業協同組合、協議会 等

対象作物 でん粉原料用ばれいしょ

① Gr抵抗性品種等の栽培技術の向上に向けた取組 2,000円/10a

Gr抵抗性を有する品種を対象とした、地域の環境条件に応じた栽培技術の向上、最適化に向けた産地の取組を支援。

② 疎植栽培技術の向上に向けた取組 1,500円/10a

疎植栽培の推進に当たって、地域の環境条件に応じた栽培技術の向上、最適化に向けた産地の取組を支援。

**取組内容・
補助率等**

留意事項

- ・輪作計画を作成すること。
- ・補助対象面積は、①、②に取り組む事業取組者の事業実施年度における取組面積。
- ・（1）の重点支援の取組面積との重複申請は不可。
- ・栽培技術等の向上に向けた取組に当たっては、試験研究機関又は普及組織等関係機関の適切な指導に基づき実施すること。

輪作計画について

事業実施主体は、事業実施地区等における、でん粉原料用ばれいしょ又はてん菜を含めた持続的な輪作体系の構築に向けた取組方針等について記載した計画（輪作計画）の作成が必要です。

<輪作計画（イメージ）>

輪作体系の現状及び課題、持続的な輪作体系の構築に向けた取組方針等



	事業実施地区における主な輪作作物の構成割合 (%)						
	ばれいしょ (でん原用)	ばれいしょ (加工用)	てん菜	小麦	豆類	野菜類	その他
現状値（〇年度）	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%
見通し（〇年度）	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%

※現状値と地域の輪作年限に応じた見通しを記載（4年輪作の場合は4年後）

※別途、輪作体系の構成割合の変化の理由を記載

